

立命館大学アート・リサーチセンター
 文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」
 2018年度 共同研究成果報告書〔研究費配分型〕

2019年 4月 19日 提出

1. 研究課題名	
演劇上演記録データベースを活用した、演劇資料画像検索閲覧システムの構築に関する研究 (英文標記: _____)	
2. 研究代表者	
氏名 (ふりがな)	所属機関・職名
武藤 祥子 (むとう さちこ)	公益財団法人 松竹大谷図書館
3. 研究分担者 (合計: 4名)	
氏名 (ふりがな)	所属機関・職名
井川 繭子 (いがわまゆこ)	松竹大谷図書館司書
倉橋 正恵 (くらはしまさえ)	立命館大学産業社会学部非常勤講師
原田 真澄 (はらだますみ)	日本女子大学学術研究員
武田 寿恵 (たけだとしえ)	神奈川工科大学基礎・教養教育センター非常勤講師

4. 研究課題の概要
<p>松竹大谷図書館は、開館以来演劇資料整理の基礎となる演劇上演記録を作成してきた。この上演記録は、主に明治初年から戦前までの東京の記録と、戦後の各地の大劇場、及び東京の小劇場の記録である。これまでの研究では、これらの記録を完全にデータベースに移行し、考証を進めてデータの精度を上げてきた。今後は日本演劇の研究と資料整理の基礎となるこの上演記録データベースを基に、立命館大学アート・リサーチセンターとの共同研究により、所蔵資料のデジタル画像化を進め、検索閲覧システムを構築し、Web公開を進めることを課題としている。</p>
5. 研究成果の概要 (この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります)
<p>(1)-1 松竹大谷図書館上演記録の考証作業 演劇の上演記録のうち、舞踊会公演記録のデータベース化と考証作業を行った。今年度は1,666件の考証作業が終了した。2015年度の作業開始より通算では、7,907件の考証作業が終了し、そのうち新規追加されたデータは5,909件である。 松竹大谷図書館上演記録全体では、121,230件のうち、55,496件の考証作業が終了した。</p> <p>(1)-2 舞踊会プログラムの所蔵目録作成 松竹大谷図書館が所蔵する日本舞踊及び邦楽演奏会などの公演プログラムの所蔵目録データを作成した。作業は前項(1)-1の考証作業と同時並行して行った。今年度は1,610件の目録データを作成した。2015</p>

年度の作業開始より通算では、2,019 件の目録データを作成した。

(2) 劇場名データベース作成

演劇上演記録の考証作業の入力支援表である劇場名の一覧表をさらに発展させ、東京・大阪・京都の演劇の劇場について、その変遷を記録するデータベースを作成した。今年度は 622 件のデータを作成した。

(3) 新派上演年表の公開

2014 年度より 2015 年度にかけて、ジャンルを「新派」に限定して考証作業を行ったデータ (2,653 件) を整備し、アート・リサーチセンターのデジタル歌舞伎博物館、「興行年表／公演情報」の中に「新派上演年表」として全面公開した。